

“その時” 誰かがいるとは限りません。あなたに代わって、大切な命の情報を伝えます。

救急医療の現場では秒単位の差が生死を分ける事も少なくありません。

昨今、独居世帯が増えたこともあり、患者さんの情報が的確に伝わらないことが、救命の大きな弊害となっていました。生存率を高めるためには、既往症や服用薬などの情報を医療現場に正確に早く伝える事がポイントになります。

『救急医療情報キット 命のボタン』は、重要な医療情報をコンパクトに収納し、医療従事者に確実に伝えるための救急医療情報キットです。これにより緊急の事態が起きた場合、当事者のかわりに医療情報という“命のボタン”が医療従事者に渡され、適切な処置が速やかに受けられるようになります。

そして、救急医療体制との連携をさらに強化することにより、村民の方々の命が守られるとを考えます。

救急情報			
氏名		生年月日	性別
明・大 昭・平		年 月 日	男 女
電話番号	住所		
()	()		
かかりつけ医療機関①		かかりつけ医療機関②	
名称			
科目及び担当医			
所在地			
電話番号	()	()	()
緊急連絡先氏名	続柄	電話番号	住所
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()
服薬内容 (薬剤情報提供書の写しなど)		持病	
その他 救急隊員への伝言など			
指定居宅介護支援事業者	所在地		
()	()		
電話番号	()	()	()
同意書	容器の中に入っている救急医療情報キットを 本人氏名で ご署名下さい。		



【セット内容】
救急情報シート／救急医療マークシール／ケース／取扱説明書

救急医療情報キット 命のボタンのセッティング

1

- 容器の中に入れる物を用意する。
- 医療情報用紙(常用している薬・アレルギーなどの有無・緊急連絡先・主治医・持病・個人情報など、必要事項を記入します。)
 - 写真(本人確認の出来るもの)
 - 健康保険証(写)・診察券(写)
 - 薬剤情報提供書(写)・お薬手帳(写)



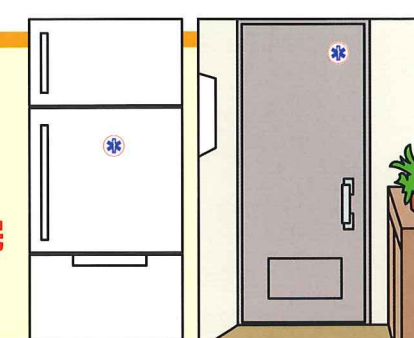
2

- 1で用意したものを専用ケースに入れ、冷蔵庫の目立つ場所に保管します。
(ケースの中に生命保険証のコピーや非常持ち出しの薬なども一緒に入れられ、樹脂製のシートは水塗れに強く安心です。)



3

- 救急医療マークシールを
- 冷蔵庫の扉
 - 玄関ドアの内側
- それぞれ貼り、セッティングは完了となります。
※1枚は予備



救急医療情報キット 命のボタン <活用例>



お年寄りの具合が悪くなり119番へ電話



救急隊が自宅へ到着玄関ドアの裏側を確認



冷蔵庫のシールを発見



冷蔵庫の中にあるキットを取り出す



キットの中身を確認し情報を入手する



適切な処置をして病院へ搬送